



2023 年を振り返って

早いもので、来年の足音が近づいてきました。

振り返れば、今年の夏は、暑い暑い夏でした。

夏の暑さを記憶しているかのように寒くなるのも遅く、その分小春日和には園庭でお弁当を頂く日も多く、子どもたちはプチピクニック気分を味わいながら、穏やかな時間を過ごしました。

気候は温暖化に変化してきて、お米も、フルーツなども、今までは収穫できなかったものが美味しくなったりと地域の特産物も変わってきている地方もあります。

今年は子ども家庭庁も発足して、改めて「こどもまんなか」社会と言われるようになりましたが、子どもたちが力強く生きていく事には“基本的な目には見えない物に生かされている関係性”が大切なのだと思います。

COP28 は閉幕したばかりですが、空気や水を始めとして、地域性なども含めた恩恵を感じ入る心を育むことは、感度を高め、協調の社会を生み出し、「こどもまんなか」の実現に近づいていくための方法なのではないかと思っています。

誰でも一人では、何も成し遂げられません。誰かの力を借りて、力を出し合って成り立っているのですから、当たり前毎日が、当たり前ではありません。

先ずは、お互いに生かされて生きている事。だからモチベーションを持って邁進していく事、というその感覚こそが幼児時代にこそ、育まれる最も大切なことの1つでしょう。

それには、やはり大人の私たちが、温かい言葉掛けを掛け合っていく事が、他者を尊重する後ろ姿となって、子どもたちへのロールモデルとなっていくでしょう。その中から、良い子も育っていくと思っています。

無関心は関係性には届かず、自分ばかりが良いのではそれは良くない事も教えていってあげましょう。生きやすい社会を創っていくのは、1人1人なのですから…

冬休みに入りますね。心が広がる絵本など読みながら、温もりを伝えていきつつ、日頃頑張っている、ママやパパも、子どもと一緒にリラックスして楽しんで下さい。子どもが大好きなのは、ご家族の笑顔です。

どうぞ皆様、良い年の瀬をお過ごしください。

2023年も多大な御協力を頂きありがとうございました。

2023年12月
園長 杉田 雅美

